

海外安全対策情報（平成28年7月～9月）

1. 地域情勢

デトロイト市内では依然として高い水準で犯罪が発生しています。多くの在留邦人が居住し、比較的治安が良いとされるノバイ市（ミシガン州）やダブリン市（オハイオ州）でも強盗事件が発生しています。ノバイ市の強盗事件ではけん銃が使用されており、「米国では銃犯罪の可能性は潜在的にどこにでも存在する」ことを改めて認識願います。また、殺人・強盗など凶悪事件の大半は夜間に発生していますので、深夜の不要な外出は控え、外出する際は周囲の状況に気を配るようお願いします。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館管轄地域内（ミシガン州及びオハイオ州）の主要都市又は在留邦人が多数居住する地域の犯罪発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2016年7月1日から9月30日。括弧内は前3か月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	侵入盗	窃盗	自動車盗等
ミシガン州	デトロイト	86 (+9)	3 (±0)	899 (+180)	2365 (+453)	4230 (+731)	2286 (+101)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	2 (+2)	14 (+10)	38 (-13)	57 (+3)
	アナーバー	1 (+1)	19 (-5)	9 (-5)	67 (+1)	280 (+73)	191 (+61)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (±0)	1 (-1)	30 (+5)	42 (-50)	29 (-31)
	コロンバス	11 (+10)	4 (-7)	244 (+165)	461 (+312)	500 (+103)	282 (+6)
	シンシナティ	3 (±0)	16 (-7)	126 (+57)	152 (-16)	500 (±0)	15 (+7)

3. テロ情勢

ミシガン州及びオハイオ州内における具体的な脅威情報には接していません。

一方で、当地治安当局も「過激化した個人によるテロは事前に察知することは難しい」との見解を示しています。8月には、デトロイト市内在住の男が、手榴弾を不法に入手しようとして、FBIに逮捕されています。自宅からは、マシンガンや銃弾数千発のほか、アル・カイダに関係する資料が発見されています。テロの可能性・危険性は身近にあることを認識し、空港、イベント会場など不特定多数が集まる場所では周囲の状況に配意し、放置された荷物など、不審な状況を認めた場合には速やかにその場を離れるなどの注意が必要です。

4. 日系企業の安全等に関わる諸問題

デモなど対日感情の悪化に係る事案は把握していません。